



認定特定非営利活動（NPO）法人

柔道教育ソリダリティー



Newsletter vol. 11
Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①朝飛道場(神奈川県・横浜市) ②日中友好南京柔道館(中国・南京市) ③日中友好青島柔道館(中国・青島市)
④元気になる! 石巻柔道教室(宮城県・石巻市)

国際的な柔道の普及—「自他共栄」を実現するために

— To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

現在、国際柔道連盟(IJF)には、200の国と地域が加盟しています。柔道は、一流競技者から一般市民に至るまで愛好され、各国の文化的特性と融合しながら創始者嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。

柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

— We communicate the Japanese spirit.

昨今の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差の拡大、人口増加など問題が山積みされています。そのような状況の中、一部の発展途上国では柔道の指導者、道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。柔道の国際的普及、振興に努めていきます。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

— Educate youth through judo.

柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えております。これからの社会を担っていく青少年を、柔道を通して育てることが大切であると考えております。



認定特定非営利活動法人
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第11号

2012年3月1日発行 Published 1st of March 2012

発行人: 山下泰裕

発行所: 認定特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa
Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 11

<http://npo-jks.jp>

※柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁より認定を受けました。本法人へのご寄附は、寄附金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。

柔道 友情 平和

検索

主な活動 (2011年7月～2011年12月)

- Major Activities -

年 月 日	内 容
2011年8月22日	国際柔道研究者会 (IAJR) の会議・シンポジウムに山下理事長を派遣 (フランス・パリ市)
2011年9月8日～11日	「日中友好南京柔道館」へ橋本副理事長らを派遣 (中国・南京市)
2011年9月6日～22日	アメリカ海軍士官学校 (アナポリス) へ大川康隆氏を派遣 (アメリカ・メリーランド州)
2011年10月23日	第30回望星旗少年武道大会 (柔道の部) を支援 (神奈川県・東海大学)
2011年11月5日	「元気になろう! 石巻少年柔道教室」を開催 (宮城県・石巻市)
2011年11月29日～	アフガニスタン女子柔道選手ファヒマさんを2012年5月末まで受入 (東海大学等)
2011年11月30日～12月14日	イスラエルの柔道指導者ラズミ氏を受入 (神奈川県・東海大学等)
2011年12月1日～12月24日	パレスチナの柔道指導者カレッド氏を受入 (神奈川県・東海大学等)
2011年12月1日～	ロシアの女子柔道指導者フローラさん、カーシャさんを2012年5月末まで受入 (東海大学等)
2011年12月4日	第31回塾友杯柔道少年大会を支援 (東京都・望星学塾)
2011年12月5日	第11回講演会を開催 (東京都・霞ヶ関)
2011年12月1日～8日	望星学塾「国際親善週間」を支援 (東京都・望星学塾)
2011年12月14日～16日	「日中友好青島柔道館」に山下理事長、光本事務局長を派遣 (中国・青島市)

※1 第11回講演会で語る宮城県石巻市柔道協会会長、木村清徳氏

※2 「元気になろう!」石巻柔道教室で山下理事長に駆け寄り子供達

※1 Mr. Kiyonori Kimura, Chairman of the Ishinomaki City Judo Association, Miyagi Prefecture, delivers a lecture at the 11th lecture meeting.

※2 Children gather around Executive Director Yasuhiro Yamashita at the Ishinomaki Junior Judo Class "Let's Be Cheerful!".

1

2



日本の心、柔道を世界へ伝えるために

柔道用品 (柔道衣・畳) の支援

2011年度は、柔道衣450着 (4か国) を送りました。

2011年5月に送付したリサイクル柔道衣50着が、同年8月にコロンビア共和国のバジェ・デ・カウカ県カリ市のコロンビア日系人協会に届きました。2011年度は、柔道衣450着 (4か国) を送りました。



Republic of Colombia



届いた柔道衣を着た日本人協会の職員

In August 2011, 50 recycled judogis that we sent in May 2011 arrived at the Colombian Association of Nikkeijin (Japanese descendants) in the city of Santiago de Cali, Valle del Cauca Province, the Republic of Colombia.

Gracias!

2011年8月にコロンビア共和国のバジェ・デ・カウカ県カリ市に届いたリサイクル柔道衣がコロンビア日系人協会に贈呈されました。日系人協会では、リサイクル柔道衣を使用し、柔道を含む日本武道の普及を行うことを目的としています。柔道の精神を広めることによって、日系人の親睦や現地コロンビア人との交流をはかるそうです。平均月収が300ドル程のコロンビアでは、柔道衣を手に入れることがとても困難です。特に地方の道場では、柔道衣を見たことが無い子供達が柔道を行っているそうです。今回贈呈された柔道衣がコロンビアの柔道普及に大きな手助けになることを期待します。

国際柔道研究者会 (IAJR)

2011年8月22日にフランス・パリ市で開催された国際柔道研究者会 (IAJR: International Association of Judo Researchers) の第7回シンポジウムに山下理事長が参加しました。山下理事長は、「松前重義を語る」の演題で講演を行いました。



シンポジウムで語る山下理事長、多くの柔道研究者が聴講した

Executive Director Yasuhiro Yamashita participated in the 7th symposium of the International Association of Judo Researchers (IAJR) held on August 22, 2011, Paris, France. He delivered a lecture titled "Talking about Dr. Shigeyoshi Matsumae."

今回シンポジウムを主催した国際柔道研究者会は、2006年に設立されました。現在は、英国バース大学内に事務局を置き「柔道の学術的な側面を向上することによる若手研究者の育成、柔道を通じた国際文化の相互理解、交流を促進すること」を目的としています。本法人は、設立時より柔道研究者のネットワークの構築等に支援を行っています。

2011年8月22日に開催された第7回シンポジウムには、世界中の柔道研究者が集まりました。会場では、柔道を様々な角度からとらえた研究についての口頭発表やポスター発表が行われました。

演題「松前重義博士を語る」の山下理事長の講演には、様々な国の柔道研究者が集まり熱心に聴講していました。

第11回講演会

「震災を柔の心で乗り越える」

2011年12月5日(月)東京・霞ヶ関、東海大学校友会館にて、第11回講演会を開催しました。第1部では、宮城県石巻柔道協会からの報告「震災を柔の心で乗り越える」の演題で寺澤豊志氏(全日本柔道連盟柔道ルネッサンス特別委員会都道府県部会長)、木村清徳氏(石巻柔道協会会長)が震災の状況を語りました。第2部では、「柔道を通じた日露交流を語る」—松前重義博士からブーチン首相まで—の演題で山下理事長が語りました。

On Monday, December 5, 2011, the 11th lecture meeting was held at the Tokai University Club in the Kasumigaseki district of Tokyo. In Part 1 "Overcoming the Earthquake Disaster with the Spirit of Yawara" featuring reports from the Ishinomaki City Judo Association, Miyagi Prefecture, Mr. Toyoshi Terasawa (Chairman of the Prefectural Section, Judo Renaissance Special Committee of the All Japan Judo Federation) and Mr. Kiyonori Kimura (President of the Ishinomaki City Judo Association) gave lectures. In Part 2, Executive Director Yasuhiro Yamashita delivered a lecture titled "Talking about Japan-Russia Exchange through Judo: From Dr. Shigeyoshi Matsumae to Russian Premier Vladimir Putin".



東日本大震災後の宮城県の様子を話す寺澤豊志氏

第1部では、寺澤豊志氏(全日本柔道連盟柔道ルネッサンス特別委員会都道府県部会長、株式会社豊蔵コーポレーション代表取締役)が東日本大震災後の宮城県の被災地の現状を話しました。2011年12月筑波大学の山口香准教授が女川町で柔道教室を行ったこと、2011年11月に本法人が開催した山下理事長、井上康生氏の柔道教室などの様子などを話しました。いろいろな方が避難所を訪れたが、その中で物資だけでなく、様々な人の「何かしようと行動する気持ち」が励みになっているということ、本法人の活動からもその気持ちを感じると話されました。「震災後、いろいろな醜いことも目にしましたが、日本人は優しく、助け合える『相助』の気持ちを持っている。嘉納治五郎師範が創設した柔道にも『精力善用・自他共栄』という言葉があるが、我々柔道にかかわる者は、『精力善用・自他共栄』が常に柔道の根本の精神の中にあるを肝に命じて指導しなければならぬ」と締めくくりました。

次に木村清徳氏(石巻柔道協会会長、木村柔道館館長、NPO法人石巻市体育協会副会長、石巻市スポーツ少年団本部長)が石巻市が作成したDVDを上映し石巻市の現状を話しました。多くの子どもたちが心に傷や多くの不安を抱え、生活していること。石巻市をスポーツで元気にすることを目的に4月に石巻総合スポーツクラブを結成、10月に石巻市武道協議会を設立、11月には「武道の町・石巻」を宣言したことを話しました。

「被災直後、生死を分ける極限状態の中にあつて大きな暴動もなく、礼儀正しい日本人の姿は、多くのマスメディアによって世界中に発信されました。その背景にあるのは、潜在的に培われた日本人の心のありようにあると考えます。根底には、礼に始まり礼に終わるという武道精神があつたとも言われています。石巻市武道協議会は、こうした時代だからこそ素晴らしい精神文化を大切に継承して行くことが、大切な使命であると考えています」と次代を担う青少年のために活動をしていくことを話しました。

その後、第2部では、山下理事長が松前重義博士に言われた、「日本で生まれ育った柔道を通して世界と友好・親睦を深めてほしい。スポーツを通して世界平和に貢献してほしい」との言葉から、世界の多くの国との交流を大切にしてきたことなどを話しました。その中でブーチン首相と出会い、『ブーチンと柔道の心(朝日新聞出版)』の出版につながったこと、テロで傷ついた北オセチア・ベスランの子供達の支援を行ってきたこと、「日露が本当の友人になることを願って、柔道は小さな活動ですが、これからもこの切り口で交流を進めて行きたい」と話しました。



霞ヶ関ビル35階、東海大学校友会館の会場には座りきれないほどの方が集まり聴講しました

教材製作事業

中国語版「柔道教則本(柔道入門)」の製作事業として、2011年9月8日～11日の期間、橋本副理事長、東海大学大学院体育学研究科の穴井亮平君を中国・南京「日中友好南京柔道館」に派遣しました。

For the project to create a Chinese version of the Judo Beginners' Manual, we dispatched Assistant Executive Director Toshiaki Hashimoto and Ryohei Anei, a postgraduate student of the Tokai University Graduate School of Physical Education, to the Japan-China Judo Friendship Center in Nanjing, China, from September 8 to 11, 2011.



子供たちの前で、柔道指導を行う穴井亮平君

橋本敏明副理事長の報告です

9月8日(木)、13:00成田空港から中国東方航空MU776便で南京へ出発。南京市重競技運動学校近くのグランドメトロパークホテルのロビーで南京日本人会会長の兎澤和広氏(南京で会社経営・仁和館商貿有限公司)の出迎えを受け、橋本の部屋で2日間の日程、「柔道教則本(柔道入門)」の写真撮影について打合せを行う。カメラマン、及び実技を行う運動学校の女子学生(2名)を紹介される。夜、ホテル向かいの中華料理店で私達の歓迎会が催された。運動学校の王慶校長、男子監督(男性)、女子監督(男性)、女性コーチ、事務長(女性)、兎澤氏、常東君と再会を喜び合い歓談した。

9月9日(金)、南京市重競技運動学校の女子柔道場(中日友好南京柔道館)において、午前9時から午後4時まで、中国語で出版を企画している柔道教則本の写真撮影を行なう。写真撮影は、照明などが準備された場所において、橋本の指示で穴井と常東の両君が実技の模範などを示しながら進める。900枚以上撮影し、約250枚程度を選んだと言っていた。翻訳は兎澤氏が担当される。

夜の19時から21時までが南京柔道館の練習時間で、休み前の金曜日ということで、約100名が集まり、子供から大人まで、見学の保護者を含めて大層な賑わいで、活気があった。ゲーム的要素を入れた運動、準備体操、受け身、打ち込みなどでおよそ1時間を費やす。その後、穴井君が得意技の体落を中心に説明し、沢山の質問を受けていた。常東君が、人数が増えて指導が大変だと嬉しい悲鳴を上げていた。

9月10日(土)、午前は女子、午後は男子の練習に参加する。穴井君が乱取と得意技の体落を披露し、技のポイントを説明した。男子は試合前ということで、17歳の若手が主体の練習だった。女子の練習で、部内試合を観戦したが、最も有望な選手が投げられた時に肘を痛める怪我をした。試合は直ぐに中止されたが、指導者は痛手と言っていた。心配である。

9月11日(日)、早朝の5時30分頃、ホテルを車で出発、空港へ向う。兎澤氏が見送って下さる。MU775便は定刻の8時10分に飛び立ち、成田空港に日本時間の12時7分に到着した。



背負い技の基本姿勢を示す常東氏と穴井君、説明を行う橋本副理事長



「柔道教則本(柔道入門)」作成のための撮影の様子

最後に、今回の所感を記す。

- * 日中友好南京柔道館は、会員数も増え活気があった。指導者(常東君を補佐する者を含め)の養成を組織的に行なっていくことが急務だろう。
- * 技能などの評価に関するシステムも考えることが必要だろう。兎澤氏に資料などを提供してもらい、日本でのシステムを参考に、原案を作成してみたい。
- * 柔道教則本の写真撮影は順調に進んだ。日本語の原稿は兎澤氏に渡してあるので、これから出版に向けて、翻訳、写真選び、出版社の選定などを進めていきたい。
- * 穴井君は修士論文作成に向けて、南京柔道館の現状と雰囲気、保護者の様子などがよく理解できたと思う。



日中友好南京柔道館の子供達と



東海大学大学院
体育学研究科修士課程2年
穴井亮平君

2011年9月8日～11日の間、中国語版「柔道教則本（柔道入門）」作成と柔道指導を兼ねて、「日中友好南京柔道館」に橋本敏明先生と私の2人で行かせていただきました。日中友好南京柔道館の道場は300畳を越えるほどの広さで、トレーニングコーナーや見学するスペースまであり、その道場で4歳～50歳くらいまでの幅広い年齢の人々が楽しそうに一生懸命に柔道に取り組んでいて、雰囲気の良い柔道クラブだと感じました。指導は東海大学で柔道を学んだこともある常東氏が中心になって行っていました。練習のメニューは準備体操や基礎トレーニング、受け身の反復などをたっぷり1時間ほど行い、打ち込みに入っていくという流れをとって、基本と安全にとても気を使って指導していると感じました。

私は「柔道教則本」作成の傍ら、練習に参加し、技術指導をさせていただきました。言葉が通じない中での指導ということでもとても苦労しましたが、言葉が通じなくても柔道を通じてコミュニケーションを取ることができ、改めて柔道の魅力や素晴らしさに気付くことができました。とても素晴らしい経験をさせていただいたと感じています。子供たちから「技をかけたら返されるのだけどどうすればいいの？」など多くの質問をされ、小さな子

供たちでもしっかり自分で考えながら柔道をやっているのだなと感動し、私も見習わなければならないと思うと同時に、この道場はこれからもっともっと発展していくだろうと感じました。また、中国のナショナルチームの練習に、男女ともに参加させていただいたのですが、体が大きく、体力もあるので、とても強いというのが正直な感想でした。ですが、前後の動きばかりだったり、体を捨てて巻き込むような技が多かったので、色々な方向の動きを使ったり、しっかり2本持って技をかけるという柔道の基本的な動きができるようになると、さらに強くなり、中国のこれからの柔道の発展につながると感じました。そのためにも柔道の基本を重視している日中友好南京柔道館が果たす役割は大きいと思います。

今回の研修では少しですが、中国の歴史や文化に触れることができました。数多くの貴重な経験を通して、柔道は国際交流にとっても有効であると感じました。このような経験をさせていただいた日中友好南京柔道館の皆さんやたくさんの中国の方々、柔道教育ソリダリティーの皆さまに大変感謝しています。最後に日中友好南京柔道館の今後の活躍を祈っています。本当にありがとうございました。

外国への指導者派遣事業

2011年9月6日～22日、アメリカのメリーランド州ワシントンDCにある海軍士官学校(アナポリス)に、東海大学助教大川康隆氏を派遣しました。

From September 6 to 22, 2011, Mr. Yasutaka Okawa, a full-time assistant professor at Tokai University, was dispatched to the United States Naval Academy (Annapolis), Maryland, located in the vicinity of Washington DC.



東海大学
総合経営学部マネジメント学科
助教 大川康隆氏

2011年9月6日～22日の17日にわたって、ワシントンDC 近郊のアナポリスにある海軍士官学校を中心に柔道指導を行った。海軍士官学校での柔道クラブのステータスは長らく同好会レベルであったが、昨年の井上康生先生の訪問がきっかけとなり、それまで同好会であったクラブが正式な部となった。

月～金の週5回の稽古は、練習をすることに焦点をあてた。つまり、よくありがちな、技を見せる、その技を練習させるといった柔道クリニック方式の指導は少なめにし、指導期間後も学生自身が自分たちのみで継続して練習が続けられるように、どのように練習したらよいかを中心に指導を行った。その為に、打込をはじめとした反復練習の方法を紹介し、技を磨く為に時間を使った。学生たちも今までとは少し変わった練習方法に戸惑いながらも、息を弾ませながら熱心に練習に取り組んでいた。

また、週末にはノースカロライナ州で試合があり、その試合に向けての指導をしてもらいたいという要請があり、立技での攻撃と防御、立技から寝技への連携を中心に指導を行った。指導の結果であれば非常に嬉しいのだが、出場者が全員入賞メダルを獲得した。選手たちは、どのように練習し、どのように試合をすればよいか、これからは何を練習しなければならないか等、今後のことがそれぞれ明確になったのではないだろうか。海軍士官学校での指導では、技術の指導に終始するのではなく、アメリカの将来を担う若者たちに、柔道を通じてその精神を理解してもらえるように努めた。さすが士官学校の学生であり、高いモラルや自己コントロールといったことがしっかりと身に付いており、柔道を行う目的が柔道技術の上達だけではないことをよく理解してもらえた。

アメリカでの柔道というのは、国の規模から考えても競技スポーツとして十分に広がっているとは言い難い。しかし、地域レベルでの活動や、海軍士官学校のような場所で柔道が正規の活動として認められるようになった点からも、柔道に対する需要というのは非常に高い。しかし、指導者の供給が十分であるとは言えない。しっかりとした指導のできる指導者が必要とされている。

最後に、今回のアメリカでの柔道指導が存分にできたことは、古森義久様、古森スーザン様、ワシントン柔道クラブのタッド・ノルズ氏のサポートが大きかった。海軍士官学校柔道部長のドナホー少佐、コーチのエドウィン・タケモリ氏には現地で指導しやすいようにと大変なご配慮を頂いた。また、自衛隊より出向されている筒井氏、現地日本大使館の安藤氏、大使館付きの自衛官の河口氏にも柔道指導にあたってご尽力いただいた。今回の柔道指導に際し、多くの方々にサポート頂いたことに感謝いたします。

外国からの指導者・選手受入支援

外国からの指導者及び選手受入れ事業として、パレスチナより柔道指導者カリッド氏、イスラエルより柔道指導者レズミ氏を2011年12月に受入れました。また2011年12月より半年間、アフガニスタンより女子柔道選手ファヒマさん、ロシアより女子柔道指導者フローラさん、カーシャさんを受入れています。

Mr. Khaled Mohammad Shihada Abu Rmilah

Palestine



神奈川県横浜市の朝飛道場での研修の様子



神奈川県相模原市の相武館吉田道場で研修を行った(左から2番目)

2011年12月1日～12月24日の期間、パレスチナの柔道指導者カリッド・モハンマド氏が東海大学を中心に日本の柔道環境や柔道指導法を学びました。

Mr. Khaled Mohammad Shihada Abu Rmilah, a Palestinian judo instructor, experienced the Japanese judo environment and coaching methods mainly at Tokai University from December 1 to 24, 2011.

NPOの会員の皆様、事務局の皆様へ

初めに、柔道を始めてからの夢であった柔道創始国である日本や東海大学へ柔道指導者として研修をさせていただいたことに、心から感謝申し上げます。東海大学では柔道の先生方から個人的にもご指導をいただき、大変貴重な経験をさせていただきました。特に山下泰裕先生からのご指導は、決して忘れられるものではありません。山下先生からは、柔道で学んだものを人生で生かすことを学びました。

また、お伝えたいことを箇条書きで書かせていただきます。

- 柔道指導者として知らなかった指導法を多く学びました。
- パレスチナに帰って、私の生徒に教えたい指導法を多く学びました。
- 指導者と選手の絆を深くするためのゲームや指導法を学びました。
- 私は日本人から時間を守ることを、正直で他者を思いやる心を学びました。
- 私は3つの町道場から新しいスタイルの指導法やゲームを学びました。
- 東海大学の道場や他の施設で海外からの研修者と交流を持つことができました。
- 今までに学んだことのない柔道の形を学びました。

私は、今回学んだ知識を母国に帰りパレスチナ柔道連盟の技術担当者と協力し、パレスチナの柔道発展のために、広く伝えていきたいと思っています。私には、柔道をこよなく愛する息子がいます。息子は4年後のオリンピックを目指し柔道の練習に励んでいます。彼の人生の夢のためにも、そしてパレスチナ柔道の技術向上のためにも、これからも努力する所存です。最後に、山下泰裕先生をはじめ東海大学の先生方、NPOの会員の皆さま、私の滞在中親切にして下さった方々、日本の全ての方々に感謝を申し上げます。

Mr. Lezmi Adyel Yossefi

Israel

2011年11月30日～12月14日の期間、イスラエルの柔道指導者アディエル・ラズミ氏が東海大学を中心に日本の柔道環境や柔道指導法を学びました。

Mr. Lezmi Adyel Yossefi, an Israeli judo instructor, experienced the Japanese judo environment and coaching methods mainly at Tokai University from November 30 to December 14, 2011.

私は、イスラエルのアディエル・ラズミです。私は柔道初段で毎日柔道を練習しています。また、現役の選手として、イスラエルで大会にも出場しています。私は4歳の時柔道を学び始め、それから日本に憧れ日本で柔道を勉強することを夢に見ていました。

この度、私は貴法人の招待で2週間、東海大学柔道部で柔道を学ぶ機会をいただきました。日本の柔道を習得するのに2週間は、決して十分ではありませんでしたが、私は日本とイスラエルのトレーニングの違いを勉強することができました。学生達の練習に集中する態度や規律は驚くべきものがありました。私は東海大学をはじめ町道場等、多くの練習に参加させていただきました。自分のクラブのメンバーや生徒に、日本で修得した柔道の素晴らしさを伝えることができると思います。

私は素晴らしい松前柔道塾の小さな子供たちと大変興味深い練習方法を勉強しました。また、講道館の訪問は私にとって大変大きな経験でした。国際大会後の多くのナショナルチームと全日本チームとの合同トレーニングキャンプに参加し、世界最高レベルの柔道選手たちと練習する貴重な体験をさせていただきました。日本で国際大会を視察し、世界の多くの選手たちと交流することは私にとって夢のようでした。

最後に、NPO法人柔道教育ソリダリティーの大きな支援により、私は今まで抱いていた夢を実現することができました。さまざまな支援をして下さった方々に心からお礼を申し上げます。

また、貴法人のお陰で私の国では、通常一緒に柔道衣を着て畳の上に立つことのないパレスチナのコーチとも友情を育むことができました。そして、他国からの選手、指導者たちと交流することは大変貴重な機会となりました。



柔道グランドスラム東京2011を視察(中央)



塾友杯柔道少年大会に参加(右から2番目)

柔道で日本の心を世界へ伝えるために

日中友好青島友好館

2011年12月14日～16日、中国・青島市「日中友好青島柔道館」の4周年記念式典に山下理事長、光本事務局長を派遣しました。山下理事長は、柔道館にて全中国の柔道指導者、監督などを対象にした講演会と柔道教室の講師を務めました。本法人は、この記念事業を協賛しました。



200名以上が集まった日中友好青島柔道館の柔道教室の様子



(株)ミズノから寄贈されたオリジナルTシャツを柔道館に贈呈しました

From December 14 to 16, 2011, an event was held to commemorate the 4th anniversary of the Japan-China Judo Friendship Center in Tsingtao, where Executive Director Yasuhiro Yamashita gave a lecture and served as an instructor of a judo class designed for judo instructors and coaches from around China. The Solidarity of International Judo Education supported this commemorative event.

2011年12月14日～16日の期間、中国柔道協会主催の日中友好青島柔道館4周年記念式典に、山下理事長と光本事務局長が招かれました。山下理事長は、「日中友好青島柔道館」の4周年事業の一環として中国全域の柔道指導者、監督などを対象にした講演会と柔道教室で柔道の技と心を伝えました。

講演会は、12月14日に青島市内の湛山花園ホテルで行われ、約200人の柔道指導者や監督が山下理事長の講演を聴講しました。山下理事長は、「柔道を通して学んだこと、これからの生き方」の演題として、指導者としての姿勢、選手への配慮などを話し、実践で活躍する方々を激励しました。

その後、日中友好青島柔道館にて「4周年記念式典」が行われました。青島柔道館の子供たちの「柔道体操（青島友好柔道館で考案された柔道の動きを使った子供達向けの体操）」が披露されるなど、青島柔道館の子供達への指導方法の工夫が見られました。

記念式典では、(株)ミズノから、山下理事長の「夢への挑戦」の文字とサイン、井上康生氏のサインが印刷されたTシャツが寄贈され、柔道館の子供たちがとても嬉しそうに受け取っていました。

12月15日は、中国全域から集まった柔道指導者を対象に、青島友好柔道館で柔道教室が開催されました。参加した指導者の方々は、カメラやビデオを片手に、山下理事長の指導を記録するなど、熱心に参加していました。

日中友好青島柔道館では、青島市内の小中学校4ヶ所に柔道場開設の支援を行っています。昨年、柔道場が開設された菜菔一路小学校では、柔道の教科を導入し、青島柔道館から指導者を派遣しています。徐館長は、将来的に柔道場を持つ小中学校を10校に増やしたいと話していました。

4周年を迎えた「日中友好青島柔道館」は、地域に根差し発展しており、青島市民との交流も大変盛んに行われていました。徐殿平館長、王華さん、時峰氏の大きな力が注がれていること、子供たちの成長を見ることができた訪問でした。

青島柔道館の役員及び子供たちは、2012年2月に来日し、本法人、松前柔道塾、そして東海大学と恒例の交流を行いました。



青島日本人学校の子供達と

また、「青島日本人学校」で子供たちとご父兄を対象に講演会を行いました。山下理事長が、青島日本人学校を訪問するのは柔道館の開館式などを含め3回目となります。教室の一角には、2008年の開館式での柔道教室で、山下理事長が技を披露した時の様子が1枚のポスターとなって掲示されていました。2012年度からの中学校武道・ダンス必修化に向けて、青島日本人学校でも準備が進められていました。

青少年を育てるために

元気になろう！石巻柔道教室

2011年11月5日、柔道教室「元気になろう！石巻少年柔道教室」を宮城県石巻市石巻商業高等学校にて開催し、山下理事長、井上康生氏が講師として参加しました。

We organized the Ishinomaki Junior Judo Class "Let's Be Cheerful!" on November 5, 2011 at the Miyagi Ishinomaki Commercial High School. Executive Director Yasuhiro Yamashita and Mr. Kosei Inoue participated in the event as instructors.

大会概要

大会名称	元気になろう！石巻少年柔道教室
開催地	石巻商業高等学校 体育館
開催日時	2011年11月5日(土)
講師	山下泰裕・井上康生
参加者	約300名
主催	NPO法人 柔道教育ソリダリティー
主管	石巻柔道協会
後援	石巻市・石巻教育委員会・NPO法人石巻市体育協会・石巻市スポーツ少年団・宮城県石巻商業高等学校・(株)ファーストリテイリング

2011年11月5日(土)、宮城県石巻市石巻商業高等学校にて「元気になろう！石巻少年柔道教室」を開催し宮城県の柔道少年少女約300名が参加しました。

柔道教室は、山下泰裕理事長、井上康生氏が講師を務めました。開会にあたり、宮城県石巻市の北村悦朗副市長より「NPO法人柔道教育ソリダリティーの名前にある『ソリダリティー(連帯)』の意識が、被害にあった皆さんを見守っています。今日は、金メダリストの先生方から上達へのヒントを得て、明日の糧にしてほしい。それが、今日来て下さった両先生への一番のお礼になります」と、挨拶がありました。その後、ロシアスポーツマン有志一同の義援金をNPO法人石巻体育協会へ贈呈しました。次に、(株)ファーストリテイリングより「ユニクロパーカ」、早川繊維工業(株)より「柔道手帳」をご提供していただき、山下理事長から参加者全員へ贈呈しました。



ロシアスポーツマン有志一同からの義援金を贈呈しました



柔道教室に参加した子供たちは、真剣に指導を聞いていました



山下理事長との組み手にとっても嬉しそうな少年



ユニクロよりパーカ、早川繊維工業(株)より柔道手帳をご提供いただきました



子供達一人一人に言葉をかける山下理事長



子供たちに質問をする井上康生氏

柔道教室で山下理事長は「日本人が忘れていた助け合いの心を持ち、前を向いて、わずかでも希望の光を持って、進んでいきましょう。一刻も早く被災地が復興することを祈っています」と挨拶し、子供たちに向けて「将来の夢や目標を持って欲しい。目標を持ち続けて、そのための努力をすることを忘れないで欲しい。伸びる選手は必ず目標を持っている。地震で大きな被害を受けたけれども、個々で目標を持って乗り越えてほしい。試合で勝つことは難しい。けれど、相手に勝ってチャンピオンになるより大切なことは自分に勝つこと。自分に負けないこと。柔道は楽しいことだけではなく、柔道衣を脱いでも、一所懸命に自分の夢に挑戦してほしい。柔道で学んだことを日常生活で生かしてほしい」と話しました。

井上康生氏は、「この国難に、負けずに立ち向かって下さい。自分はしっかりと目標を持ち続け、それに対して逃げずに立ち向かったからこそ、金メダルを取れたのだと思っています。皆さんは、ロシアや様々な国、日本全体が応援していることを忘れないで下さい。私も微力ですが、柔道を通じて今後も支援していきます」と話しました。

この教室開催では、木村道場、石巻体育協会、石巻柔道協会、石巻商業高校から大きな支援を頂きました。また、パーカを提供して下さった(株)ファーストリテイリング、柔道手帳を提供して下さった早川繊維工業(株)に、心から御礼申し上げます。



柔道教室の最後に全員の子供たちと握手と記念撮影を行いました

学生ボランティア



東海大学体育学部
武道学科2年 今野太喜君

私は11月5日に東日本大震災の復興支援ボランティア活動の一部として開催された宮城県石巻少年柔道教室に参加しました。私は宮城県出身で、地震が起きてから一回も帰省しておらず、どれだけひどい震災だったのか実際には目で見ていなかったため、状況が分からないままでした。今回の柔道教室を通して自分の故郷がどのように変化してしまったのか、自分なりに感じとりたいと思いながら帰省しました。実際に帰省して会場まで移動しているとき、道端のいたるところにヒビが入っていたり、何かの残骸の山を見かけ、考えていたよりも大変なことが起きていたのだと、感じました。

会場に入るとたくさんの子供たちが待っていました。山下先生や井上先生の姿を見るとみんな嬉しそうな顔をして、子供たちの元気な姿を見て少しホッとした自分がいました。

保護者の方々もたくさん来て下さり、被災にあった地域とは思えないほど活気がありました。柔道教室の合間に色々な方々と話す機会がありましたが、家や車などが流されて大変な思いをした人もたくさんいて、自分の家が無事だったのは奇跡に近いものだったのだと感じました。今回の柔道教室を通して、被災された方々を少しでも勇気づけられるように行いましたが、自分の考え方を变える出来事も多く、自分も気持ちの面で大きく成長できたものになりました。大学に通いスポーツができることは、決して当たり前の事ではないこと。被災して大学に行きたくても行けない人たちがいることを考え、私たちは大学に行かせてもらっていることは幸せだと感じました。これからの大学生活は、もっと親に感謝の気持ちを持ち、今回の体験を活かし、自分にできることを精一杯頑張っていきたいと思います。

第30回望星旗少年武道大会(柔道の部)

2011年10月23日、神奈川県、東海大学武道館にて第30回望星旗少年武道大会が開催されました。大会には、関東のみならず全国から63チームが参加し、熱戦を繰り上げました。開会式の後に、世界チャンピオンの中矢力選手による模範演技が行われました。少年たちは、一流選手の鋭い動きと投げ方などを真剣に見ていました。本法人は柔道を通した青少年育成事業の一環として、望星旗少年武道大会(柔道の部)を支援しています。

On October 23, 2011, the 30th Boseiki Junior Martial Arts Championships (Judo category) was held at the Budokan of Tokai University in Kanagawa Prefecture. A total of 63 teams, from not only the Kanto region but also from across Japan, participated and fought some exciting matches.

大会概要

大会名称	第30回望星旗少年武道大会(柔道の部)
開催地	東海大学湘南校舎武道館
開催日時	2011年10月23日(日)
参加チーム	63チーム
主催	(学)東海大学
共催	NPO法人 柔道教育ソリダリティー
主管	(学)東海大学スポーツ教育センタースポーツ課 東海大学体育学部武道学科柔道コース (学)東海大学望星学塾



第31回塾友杯柔道少年大会

2011年12月4日、東京都、望星学塾にて第31回塾友杯柔道少年大会が開催されました。関東地方を中心に26チームが参加しました。試合の前に、中矢力選手、浅香夕海選手が技の披露を行いました。本法人は柔道を通した青少年育成事業の一環として、第31回塾友杯柔道少年大会を支援しています。

On December 4, 2011, the 31th Jukuyuhai Junior Judo Championships were held at Bosei Gakujuku in Tokyo, attracting 26 teams, mainly from the Kanto region.

大会概要

大会名称	第31回塾友杯柔道少年大会
開催地	(学)東海大学望星学塾
開催日時	2011年12月4日(日)
参加チーム	26チーム
主催	(学)東海大学望星学塾・松前柔道塾・松前柔道塾塾友会
共催	NPO法人 柔道教育ソリダリティー



望星学塾「国際親善週間」

2011年12月1日から8日の期間に、東京都武蔵野市望星学塾にて「国際親善週間」が行われました。

International Friendship Week was held at Bosei Gakujuku in Musashino City, Tokyo, on December 1, 2, 6, and 8, 2011.

国際親善週間概要

日時	2011年12月1,2,6,8日(4日間)
開催場所	(学) 東海大学望星学塾
参加者	イスラエル・パレスチナ・アフガニスタン・ノルウェー・スペイン・グアム(アメリカ)・北朝鮮、7カ国の柔道指導者
主催	(学) 東海大学望星学塾松前柔道塾
共催	NPO法人 柔道教育ソリダリティー

毎年、東京都武蔵野市望星学塾の松前柔道塾で夏に行われている「国際親善週間」ですが、今年は震災の影響があり、12月1日、2日、6日、8日に行われました。親善週間では、国際合同練習を行われ、6日は本法人で受け入れている外国人指導者・選手5名が参加しました。様々な国の柔道指導者・選手が国際親善週間に参加し、望星学塾で共に汗を流しました。短い期間でしたが、世代や国を超えて「柔道・友情・平和」を実践する国際親善週間となりました。本法人では、柔道による青少年育成事業の一環として国際親善週間に支援しています。



多くの子供たちが国際親善週間に参加した

今後の予定

小説「姿三四郎」の英訳版制作



小説「姿三四郎」の英訳の開始、完成したものを広く配布します。

We will start translating the Japanese novel "Sugata Sanshiro" into English. After completion of the translation, we will distribute copies widely among the international judo fraternity.

「日中友好柔道館」



中国・青島市及び南京市の「日中友好柔道館」と交流を深めていきます。

We promote the "Japan-China Judo friendship Center" and exchange of China, Qingdao, and Nanjing.

外国への指導者派遣事業



2012年3月、村田 正夫(びわこ成蹊スポーツ大学)准教諭をイスラエル・パレスチナに派遣します。

We will dispatch Mr. Masao Murata, Associate Professor at Biwako Seikei Sport College, to Israel and the Palestinian territories, in March 2012.

外国への指導者派遣事業



2012年4月、外務省文化交流ミッションで山下理事長がミャンマーに派遣されます。本法人は、この派遣事業を協賛します。

Executive Director Yamashita will be sent to Myanmar, in April 2012.

講演会事業



2012年6月、第12回講演会を開催します。

The 12th lecture meeting will be organized in June 2012.

学生ボランティア



2012年夏、学生ボランティアをギリシャに派遣する予定です。

In the summer of 2012 we will send volunteer students to Greece.

お知らせ

寄附金控除のご案内

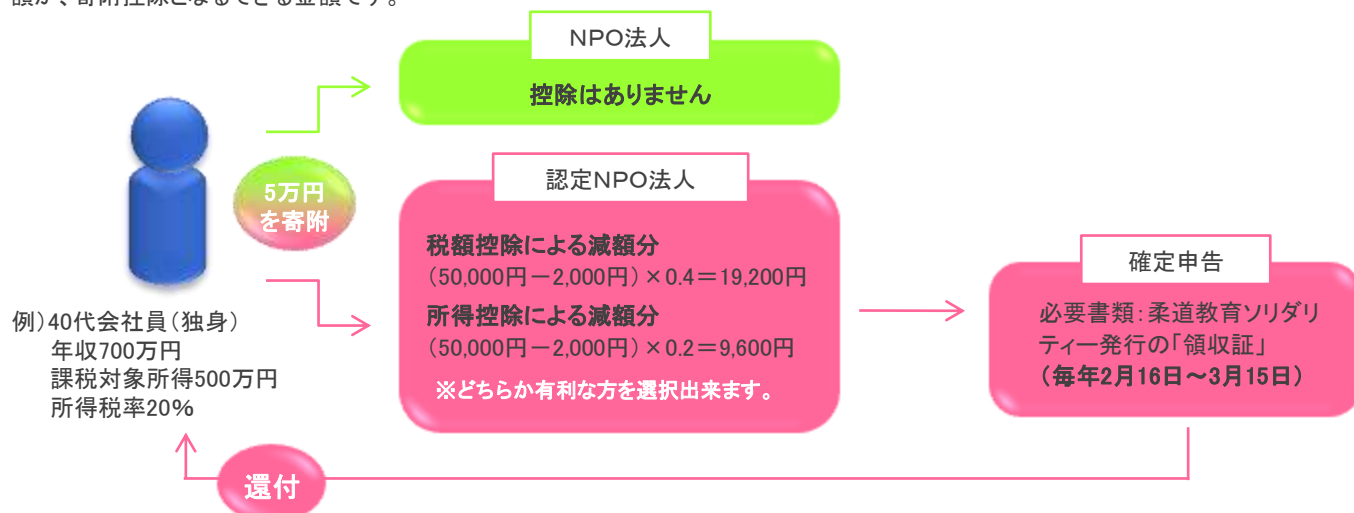
柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日付けで国税庁より認定NPO法人の認定を受けました。それにより、2009年5月1日～2014年4月30日(5年間)の個人・法人からの寄附金、さらに相続財産の寄附が税制上の優遇特典を受けられます。

個人からの寄附について

認定NPO法人柔道教育ソリダリティーに対する寄附金(事業に関する寄附・会費は除く)は、寄附金特別控除(税額控除)となります。寄附金の年間合計額と総所得などの合計額の40%相当額のいずれか少ない額から2000円を控除した金額が、寄附控除となるできる金額です。

控除申請の手続き

優遇措置を受けるためには、確定申告書に所要事項を記載の上、柔道教育ソリダリティーが発行した「領収証」を添付または提示して所轄税務署に提出する必要があります。(通常の確定申告時期は、毎年2月16日～3月15日です)



子ども用リサイクル柔道衣を募集しています！



洗濯した柔道衣上下及び帯をセットにして、下記住所にヤマト運輸や佐川急便などの宅配便を使い、着払いでお送り下さい。

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学柔道研究室 内 NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

Facebook 始めました！



FaceBookにて本法人公式ページを開設しました。NPO法人柔道教育ソリダリティー(国税庁認定)で検索下さい。



「いいね！」

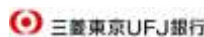
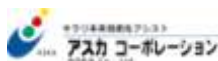
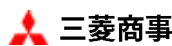
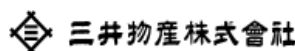
講演録・会報誌のバックナンバー



柔道教育ソリダリティーのバックナンバー講演録・会報誌をご要望の方は、事務局 0463-58-1211(内線3524)までご連絡下さい。講演録は、無料で配布しております。また、ホームページからもダウンロードすることが出来ます。

<http://npo-jks.jp>

2011年度 寄附・団体会員一覧 — Supporter —



三井物産(株)、(財)秋元国際奨学財団、東建コーポレーション(株)、新日本製鐵(株)、ミズノ(株)、(株)ファーストリテイリング、三菱商事(株)、羽田タートルサービス(株)、(学)東海大学、(株)東芝、(株)小松製作所、大成建設(株)、アスカコーポレーション(株)、(株)わくわくコーポレーション、(株)神田製作所、秀和ビルメンテナンス(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、三井住友海上火災(株)、住友商事(株)、早川繊維工業(株)、東海教育産業(株)、(株)グローバルアリーナ

(株)active、(株)アサヒ、(株)アシックス、(株)アットライズ、新井運送(株)、植木会計事務所、(株)S・Yワークス、(株)ME横浜、(株)大戸屋、大峰堂薬品工業(株)、(株)オカモト印刷、オクト産業(株)、(株)小倉屋柳本、(株)オネスト、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、神奈川柔道連盟、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、関西ブライダル、(株)紀伊国屋書店、共和電子(株)、九州電力(株)、京王観光(株)、京王電鉄(株)、(株)廣洋、相模トラリアム(株)、(株)三技協、(株)スウィート・ベリー、(株)鈴鹿蒲鉾本店、星槎グループ、(株)成通、総合警備保障(株)、(株)ダイナミクスパースンズ東京、(株)ダイワコーポレーション、(株)築地すし好、(株)テック、(株)東海教育研究所、東海大学女子柔道部、東海大学付属相模高等学校、(財)東京都柔道連盟、(医)徳真会グループ、土志田建設(株)、農業生産法人(有)十津川農場、日本BS放送(株)、(医)白磁会中ノ島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、(株)ハートフルマリアージュ、(株)ファンタジークリエーション、(株)富士サービス、(株)藤野製作所、(株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、医療法人社団 明正会、(株)メディカルラボ、(株)山安、(株)ユニバーサルアンダーライターズ、(株)ユーミーネット、横浜市柔道協会、(株)ランクアップ平野屋、(学)了徳寺学園、(学)了徳寺大学、(株)レイクウッドコーポレーション、(株)わかば、(株)ヴィーノ

(50音順)

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npo-jks.jp>

	個人	団体
正会員	291	62
寄付	32	26
アドバイザー	37	

入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁の認定を受けました。本法人への寄付は寄付金控除、損金算入など税の優遇措置の対象となります。本法人の活動は、皆様からのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。入会に関するお問い合わせやご質問は、事務局までご連絡ください。(事務局 TEL: 0463-58-1211 内線3524)

会員 (個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありません

■ 郵便振替 口座記号番号: 00200-7-37175 加入者名: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕